



かがわ看護だより

118
令和4年8月20日

令和4年8月20日現在 会員数

7,456名

- 保健師 205名
- 助産師 300名
- 看護師 6,756名
- 准看護師 195名

(公社)香川県看護協会 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4

TEL: 087-864-9070 FAX: 087-864-9071

<https://kagawa-kango.com>

発行責任者/安藤 幸代

令和4年度公益社団法人香川県看護協会定時総会



《目次》

会長あいさつ	2
令和4年度公益社団法人香川県看護協会定時総会開催	2
新役員あいさつ	3
令和4年度役員・推薦委員名簿	3
2023年度日本看護協会代議員・予備代議員名簿	3
令和4年度受章者ご紹介	4
令和4年度支部活動方針	4
令和4年度職能委員会活動方針	5
2022年「看護の日・看護週間」記念講演会を開催して	6
医療安全推進のための取り組み	6
新型コロナウイルス感染症に関すること	7
理事会報告/かがわ看護だより117号掲載クイズ結果/お知らせ/編集後記	8



会長あいさつ



公益社団法人香川県看護協会 会長 安藤 幸代

暑い日々が続き、水不足が心配される季節となりました。長期にわたる新型コロナウイルス感染対策に取り組み、医療活動をされている皆様の努力に厚く敬意と感謝を申し上げます。

また、他県では、本年も豪雨により河川が決壊し多くの方が被災されました。先日も桜島が噴火したというニュースを聞くと、いつどこで何がおこるかわからない災害に日頃からの備えの大切さを再認識しました。

さて、令和4年度の定時総会は、113人という少数ではありますが3年ぶりに会員の方々に参加していただき総会・職能合同交流集会を実施することができました。皆様のご協力で、報告事項・議決事項全て承認いただき無事終了しました。今年度も引き続き会員の皆様に役立つ看護協会となるよう役員一同で前に進めてまいります。

日本看護協会は、2025年に向けて発出した『看護の将来ビジョン』の最終評価をしつつ、さらに2040年を見据えた令和4年度の政策、課題等を掲げています。香川県看護協会は、それらを踏まえ、令和4年度は、4つの【重点課題】のもと、10の【重点事業】と、専門職として看護の発展を目指すに際し継続して取り組むものを、5つの【課題】として整理して進めてまいります。4つの【重点課題】として、「看護の機能強化」「専門職としてのキャリア継続支援」「看護職の役割拡大の推進と人材育成」「地域における危機管理体制の強化」を掲げました。引き続き看護職の働き方改革や処遇改善・全ての看護職の賃金アップに関するものなど看護職が団結して声を上げ、取り組んでいくことが重要な事業もあります。会員の皆様と情報共有しながら、取り組んでまいりたいと考えています。

最後に、一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、いつもの生活に戻れる日を祈りながら、令和4年度も会員の皆様のより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

令和4年度 公益社団法人香川県看護協会 定時総会開催

令和4年度公益社団法人香川県看護協会「定時総会」が6月19日（日）に開催されました。

今年度も本格的な夏を前に、定時総会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対応するため、参加人数、規模を縮小しての開催となりました。

安藤幸代会長の挨拶に続き、来賓の浜田恵造香川県知事、大西秀人高松市長、久米川啓香川県医師会会長、中村明美香川県看護連盟会長よりご祝辞をいただきました。続いて福井トシ子日本看護協会会長の祝電が披露され、大島敏子日本看護連盟会長、あべ俊子衆議院議員、たかがい恵美子衆議院議員、石田まさひろ参議院議員の祝電が紹介されました。

議長団選出、議決事項3事案と報告事項4事項の審議と報告が行われました。

令和3年度事業報告後、第一号議案として、令和3年度決算報告（案）及び監査報告があり、続いて令和4年度日本看護協会通常総会報告、令和4年度重点課題・重点事業並びに事業計画、令和4年度資金収支予算及び収支予算が報告されました。

今年度の重点課題「看護の機能強化」「専門職としてのキャリア継続支援」「看護職の役割拡大の推進と人材育成」「地域における危機管理体制の強化」の事業内容が説明されました。

第二号議案では、令和4年度改選役員及び推薦委員の選出について、第三号議案では、2023年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について選挙が行われました。

全ての議案と役員改選は賛成多数で可決され、新役員・推薦委員の紹介・挨拶、退任役員・推薦委員の紹介・挨拶が行われ、定時総会は無事終了しました。

総会の出席者数113名（会員95名、役員16名、議事団2名）委任状6,206名、総数6,319名（令和4年6月19日現在の会員数7,236名）

広報出版委員 林 和美



新役員あいさつ

副会長兼助産師職能理事 阿部 慈

この度、副会長兼助産師職能理事を拝命致しました。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた状況下において、医療や福祉の最前線でご活躍されている会員の皆様に敬意を表し、感謝を申し上げます。

昨今、少子高齢化社会の進展や働き方改革など、医療と看護を取り巻く環境が大きく変化し、看護職に求められる役割が拡大しております。そして看護職は、看護を必要とする人々の期待に応えるべく、看護業務と並行して常に自己研鑽を続けております。現在、看護職の処遇改善について議論が始まったところですが、すべての看護職に手厚い支援が届いている訳ではありません。まずは、看護職の果たすべき役割を再確認し、香川の地から看護職の価値を社会に示していくことが必要であると考えます。

私たち、新役員一同は、香川県看護協会の示すビジョンと重点課題の達成を力強く推進し、また、看護職の皆さまが専門職として誇りを持ち続けることのできる活動を積極的に支援してまいります。引き続き、ご支援を頂きますよう、よろしくお願いいたします。



令和4年度 役員・推薦委員名簿

■役員（理事・監事）

令和4年度定時総会において改選された方

役員	氏名	職種	施設名
会長	安藤 幸代	看	香川県看護協会
副会長	村井由紀子	看	高松赤十字病院
副会長(兼)職能理事	阿部 慈	助	香川大学医学部附属病院
専務理事	田中 邦代	保	香川県看護協会
常任理事	岡田 諭子	看	香川県看護協会
常任理事	松下 明美	助	香川県看護協会
常任理事	富山 清江	看	香川県看護協会
職能理事	大平 明美	保	香川県中讃保健福祉事務所
職能理事	熊野 知恵	看	高松市立みんなの病院
職能理事	山西 育子	看	訪問看護ステーションなつめ
第1支部理事	赤松美智代	看	さぬき市民病院
第2支部理事	山田 寿美	看	小豆島中央病院
第3支部理事	原湖美千代	看	屋島総合病院
第4支部理事	菊岡 純子	看	坂出市立病院
第5支部理事	福屋 純子	看	香川労災病院

役員	氏名	職種	施設名
第6支部理事	多田 清美	看	四国こどもとおとなの医療センター
第7支部理事	守谷 正美	看	三豊総合病院
全支部理事	平田 周子	准看	おさか脳神経外科病院
監事	鳥山 宏美	看	香川県立中央病院
監事	有塚 照夫	税理士	税理士法人二見・岩村会計事務所

■推薦委員

氏名	職種	施設名
合田 智代	保	高松市 健康づくり推進課
澤田 裕子	助	香川労災病院
西村かをる	看	かがわ総合リハビリテーション病院
亀井 裕子	看	坂出市立病院
横井 洋子	看	香川県立九亀病院
渡邊 泰代	看	四国こどもとおとなの医療センター

2023年度 日本看護協会代議員・予備代議員名簿

■代議員

職種	氏名	施設名
保	大平 明美	香川県中讃保健福祉事務所
助	阿部 慈	香川大学医学部附属病院
看	熊野 知恵	高松市立みんなの病院
看	村井由紀子	高松赤十字病院
看	守谷 正美	三豊総合病院
看	山田 寿美	小豆島中央病院
看	山西 育子	訪問看護ステーションなつめ
准看	平田 周子	おさか脳神経外科病院

■予備代議員

職種	氏名	施設名
保	蓮井 磨紀	高松市健康福祉局 長寿福祉課
保	萬藤 愛	香川県小豆総合事務所
助	井原 妙子	回生病院
助	西原加奈恵	さぬき市民病院
看	久保 信枝	りつりん病院
看	谷川 香代	香川看護専門学校
看	林 珠美	香川県立白鳥病院
看	吉田 薫	滝宮総合病院
准看	小田 友美	キナシ大林病院
准看	近藤千賀子	宇多津病院

受章者ご紹介

おめでとうございます。長年のご活躍に敬意を表し心よりお祝い申し上げます。

(五十音順)

叙勲

瑞宝双光章

瑞宝単光章

公益社団法人
日本看護協会会長表彰

憲法記念日知事表彰



元 国立病院機構高松医療センター 看護部長
まるがめ医療センター 看護部長
矢野いづみ氏



元 総合病院回生病院
副院長兼看護部長
池内眞理子氏



元 香川県立中央病院
副看護部長
野上 典子氏



元 小豆島町立内海病院
看護部長
坂本 幹枝氏



屋島総合病院
看護部長
原渕美千代氏



高松赤十字病院
副院長兼看護部長
村井由紀子氏

令和4年度支部活動方針



第1支部長
赤松美智代

暮らしの場における看護の機能や連携を強化し、健康を支える地域づくりを行うためには、地域における実情を理解し、各施設で働く多職種と協力することが大切です。

ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた事例報告会や交流会等を企画し、多職種との連携を推進し、地域におけるそれぞれの役割を考える機会として情報共有を図り、看護の役割が果たせるよう活動していきたいと考えています。



第2支部長
山田 寿美

コロナ禍が続いていますが、今年度は可能なら「小豆医療圏地域包括ケア連絡会介護部会」と連携し地域包括ケアシステムの構築のために、積極的に活動をしていきたいと考えています。以前からテーマにしていました、ACPの意思決定支援活動として地域住民へ啓発と普及に取り組んで参ります。

また小豆郡内の開業医、施設の方々との交流を深め、看護協会入会の促進も続けていきますのでご協力よろしくお願い致します。



第3支部長
原渕美千代

今年度は、地域の多職種連携交流会をリモート会議なども活用し、長期化する新型コロナウイルス感染症対策などを含めた情報交換を行い、各施設での役割を考える機会にしたいと考えています。同時に地域住民主体のネットワーク会議の活動報告を行い、地域へも感染対策などの情報提供をするなど、相互の関係づくりを深めていきたいと考えています。



第4支部長
菊岡 純子

第4支部では、地域の実情を鑑み、組織を超えた円滑な情報共有や連携・協働を目指し、支部活動に取り組んでいきたいと考えています。今年度は、「本人の意向を尊重した意思決定支援～在宅ACPシートを活用して～」のテーマで交流会を企画し、地域全体で支え繋がられるよう継続支援の強化を図ってまいりたいと思います。



第5支部長
福屋 純子

コロナ禍となり3年目となりました。今年度も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症による弊害を受けている看護や管理に着目し取り組みたいと思います。そして、地域のコロナ感染状況を鑑みてではありますが、今年度こそ、地域の方々及び施設代表の方々との交流会を再開し、問題の共有と解決に繋げていきたいと考えています。



第6支部長
多田 清美

今年度は、地域包括ケアを支える看護体制の構築を目指して、支部での交流会を通して地域のニーズや課題を共有し、より地域とつながる活動をしていきたいと考えています。特にCOVID-19の影響によって、人と人または地域とのつながりの大切さを従来以上に感じるなかで、新たな課題に対してもネットワークの充実を図り、地域の実情に合った情報発信を行う等、継続した支援へつなげていける取り組みをしていきたいと考えています。



第7支部長
守谷 正美

新型コロナウイルス感染症もwithコロナ時代に入り、ますます地域での連携強化が必要と感じています。当支部では今後起こり得る南海トラフ地震などの大規模災害にも目を向け、感染対策を含めた対応や体制の整備、地域連携について検討してまいります。また、今後は感染対策を盛り込んだBCP策定にも取り組んでいきたいと考えています。

保健師職能委員会

新型コロナウイルス感染症拡大のため、人々の生活が制限を受け孤立化し、必要な支援に繋がりにくくなっています。住民が地域・生活の場で自分らしく暮らし続けるために、個人と地域の双方に働きかけ、健康課題の解決にむけた支援ができるよう、今こそ保健師に求められる役割を再認識していく必要があると考えます。



委員長
大平 明美

保健師職能委員会では、新人保健師が集まり、職域を超えた意見交換や情報共有、求められる役割を考え確認する場として、新任保健師交流集會をはじめとした、スキルアップのための研修会を計画しています。

この取り組みが職能集団としての繋がりを強化していくための布石になればと思います。会員の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



助産師職能委員会

日本看護協会は、母子のための地域包括ケアシステムを推進し、妊娠期から育児期における切れ目のない支援体制の整備が進められています。



委員長
阿部 慈

また、少子化に伴う産科医療機関の集約化、産科病棟の混合化が進み、病院施設の助産師には高度な実践力が求められています。このような背景から、令和4年度は、①地域連携推進検討会、②助産ケア向上検討会の2つの検討会を中心に活動を展開してまいります。

地域連携推進検討会は、行政保健師や地域助産師の皆さまと協働・連携を強化するために、情報共有のためのツールを検討致します。助産ケア向上検討会は、前年度の研修成果から、急変時・災害時を想定したシミュレーションに関して検討を行います。また、アドバンス助産師申請の必須研修などを企画しておりますので、是非ご参加ください。9名の助産師職能委員が力を結集し、活動してまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

看護師職能委員会Ⅰ 病院領域

今年度も引き続き、次世代における課題への対策に取り組んでいきたいと思っております。テーマは昨年度同様、一つ目は「看護師クリニカルラダー（JNAラダー）の活用推進」です。今年度で3回目となる交流会開催に向けて、昨年度からの課題である評価方法についてのスキルを少しでも解消できるような企画とJNAラダー未導入の施設への調査を検討しております。二つ目は「看護職と看護補助者との協働推進」です。タスク・シフトを単なる業務委譲ではなく、質の高い看護ケアチームとは何か、構成員や看護補助者の教育や評価、業務体制など、交流会を通して情報発信や共有ができればと考えています。



委員長
熊野 知恵

我々、病院領域の看護師は、医療制度改革の様々な変革に翻弄されるのではなく、先を見据えた考え方や取り組みを検討していきたいと思っております。そして、看護師の役割や能力をより発揮できるよう、様々な提言をしていきたいと思っておりますので、本年度もよろしくお願いいたします。

看護師職能委員会Ⅱ

介護・福祉関係施設・在宅等領域

地域包括ケアシステムの構築に向けて地域の高齢者介護施設や訪問看護ステーション、診療所で働く看護職のケアの質向上を目指して活動しています。



委員長
山西 育子

新型コロナウイルス感染症拡大の第7波の気配を感じる中で、現在も介護施設をはじめ地域の最前線で働く看護職の方々に、心から感謝申し上げます。

今年度、当委員会では看取りケア検討会と認知症対応検討会の二つの検討会にて活動する予定です。看取りケア検討会では、看取りガイドラインの普及と看取りケアの質の向上に向けて、研修会や交流会で意見交換を行い、ACPの項目を盛り込むべく看取りガイドラインの改定に着手する予定です。

また、認知症対応検討会では介護・福祉の多くの場面で課題の多い認知症ケアについて、研修会等を通して、実践に活かせる解決策を共に検討する場にしたいと考えています。今後とも、会員の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

2022年「看護の日・看護週間」記念講演会を開催して

今年度の「看護の日・看護週間」記念行事は、コロナ禍ではありましたが看護職へのエールを含め、5月15日(日)にハイブリッド形式で講演会を開催しました。

浜田恵造香川県知事、大西秀人高松市長から来賓祝辞をいただいたあと、記念講演として、NPO法人ヒカリカナタ基金理事長 竹内昌彦様から「私の歩んだ道～見えないから見えてきたもの～」をテーマにご講演をいただきました。

講師は、幼少期に網膜剥離で視力を失い、盲学校高等部専攻科、東京教育大学の盲学校教員養成課程を卒業され、盲学校にて教育に携われ、2017年にはNPO法人ヒカリカナタ基金を設立し理事長として、また東京2020パラリンピックでは聖火ランナーを務めるなど幅広くご活躍されています。

講演では、一般小学校でいじめられたこと、でも素晴らしい先生に巡り会えたこと、教師としての生き方を教えてくれた純粋な生徒との出会い、日常生活で受けた障害者への差別など、体験を踏まえた内容を、工夫を凝らしてご講演をいただき、興味深く聴講させていただきました。

参加者は、「健康な体に生まれたことや育ててくれた親への感謝の気持ち」「優しい心をもって人と接することの大切さ」などを感じ、「私たち看護職としての使命を改めて考える機会になりました」などの感想が寄せられました。



〈講師 竹内昌彦氏〉



記念講演終了後、かがわ看護だより117号掲載クイズ結果発表と記念品の贈呈を行いました。たくさんのご応募をありがとうございました。

まだまだコロナの取束には先が見えませんが、優しい心や感謝の気持ちを持って、看護職として仲間同士力を合わせて、平常な日常・医療現場が1日も早く取り戻せるよう、一緒に頑張りたいと考えています。

○ 開催日時:令和4年5月15日(日) 13:10~15:00

○ 参加者:187名(会場参集 98名、各施設 89名)

専務理事 田中 邦代

医療安全推進のための取り組み

度重なる事例「二槽式バック製剤の隔壁未開通」について

安全管理ネットワーク委員会

安全使用のために注意するポイント

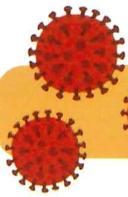
- 二槽バック製剤は、使用前に隔壁開通作業が必要です。
- 開通を確認する前に「開通確認」シールや装置を剥がさないようにしましょう。
- ビタミン剤等がバックと一体となっている製剤について、小室の未開通事例が多く報告されています。開通して色が全て均一になっているか必ず確認しましょう。
- 開通方法や開通確認の手順が違ふことがあります。添付文書等で確認しましょう。
- 投与前には隔壁が全て開通しているか再度確認しましょう。

「開通確認」シールを先に剥がして、そのまま薬剤投与してしまう事例



指さし呼称
確認!





新型コロナウイルス感染症に関すること

2年間に渡る宿泊療養施設での健康管理業務終了にあたり

令和2年、新型コロナウイルス感染症が世間で猛威を振るう中、4月21日付けで「新型コロナウイルス軽症者等宿泊療養施設での健康観察業務」について香川県から業務委託を受け、マニュアルづくりや人員確保など受け入れ準備を行い、7月17日より入所者受入れ業務を開始しました。

新型コロナウイルスに関する情報が少ない中での看護師確保は最も大変でしたが、「今この状況下、看護師として何かできることがあれば手伝わせて欲しい」と申し出ていただいた潜在看護師の方々や、7病院と1大学及び医師会の看護師派遣協力のもと、24時間療養支援体制を維持することができました。

入所による行動制限や病状、経過に対する不安、偏見や社会復帰・家族や地域との関係等に対する悩みなど、多くのストレスを抱えた入所者への対応に苦慮することも多くありました。そのような中、電話対応が中心ではありましたが、看護師の皆さんの言葉掛けや傾聴など誠心誠意寄り添う姿勢は、入所者の療養生活の力強いサポーターとしての役割が担えていたものと思っております。

2棟目ホテルの開設、重症化リスクの高い患者の受け入れや酸素ステーション・点滴治療に対応できる臨時医療施設の開設など難題も多くありましたが、多くの方々の協力を得て体制を作ることができました。

感染拡大初期より2年が経過し宿泊療養施設での受入れ体制も整備され、看護協会としての役割は十分果たせたものと判断し、7月末をもって県からの委託事業を終了することとなりました。

2年間に渡り、看護協会事業にご協力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。

今後とも、看護協会の事業活動にご支援ご協力をお願いいたします。

常任理事 岡田 諭子

新型コロナウイルス感染症への取り組み

新型コロナウイルス感染症に対し、令和2年4月から皆様方から多大なるご協力とご支援をいただきながら看護協会として感染拡大防止等に取り組んでまいりました。この度、県からの委託事業でありました「新型コロナウイルス軽症者等宿泊療養施設での健康観察業務」を7月31日で、また9月30日には「新型コロナウイルス健康相談コールセンター相談従事者派遣調整業務」を終了することになりました。COVID-19という新たなウイルスと誰もが手探りの中、対応してまいりましたが、皆様方のご支援・ご協力のお蔭で今日まで新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組むことが出来ました。長きに渡り、これらの事業にご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

今後も引き続き、関係機関と連携を図り、職能団体としての役割を確認しながら、感染防止対策に取り組んでまいりたいと考えていますので、皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

【今後の主な活動】

●香川県新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材（IHEAT）の登録意向調査及び香川県新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材の派遣調整等業務

- 1) 新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材として名簿への登録
- 2) 登録者の保健所への派遣調整等

●大規模クラスターが発生した施設へ感染管理認定看護師の派遣調整（高松市からの委託業務）

- 1) 感染管理認定看護師によるゾーニング等感染制御に関する専門的指導の実施
- 2) 感染管理に関する基本的事項や生活環境、介護行為における感染管理のスキルの強化など
- 3) 派遣先機関：高齢者施設及び医療機関等等

●日本看護協会からの委託業務

- 1) 新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研修
 - ・目的：新型コロナウイルス感染症 軽症～中等症患者に対応できる看護職員の養成
 - ・対象：一般病棟、入院待機施設等で新型コロナウイルス感染患者に対応する可能性のある看護職員
 - ・日時：令和4年7月10日～12月31日（申し込み期間：7月4日～12月23日）
- 2) 日本看護協会からの委託業務
 - ・新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業「広域人材調整事業」の実施

申込期間中です。看護協会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

●新型コロナウイルス感染対策研修の開催

- 1) 新型コロナウイルス感染症対応看護職員養成研修
 - ・目的：新型コロナウイルス感染症軽～中等症の自宅療養者への看護実践のために必要な知識と技術の習得と向上を図る。
 - ・対象：新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に対応を行う可能性がある看護職員
- 2) その他研修

広域派遣に対応できる看護職の実態調査を予定しています。調査へのご協力をお願いいたします。

現在、実施方法について調整中です。決定次第、ホームページ等でお知らせいたします。是非、ご参加ください。

専務理事 田中 邦代

理事会報告

第1回 令和4年5月14日(土) 10:00～11:35

●協議事項

1. 2021年度決算報告(案)、監査報告について(承認)
2. 令和4年度定時総会における議長団・議事録署名人の選出、令和4年度選挙管理委員の推薦(案)について(承認)
3. 令和4年度職能委員・委員の選任(案)について(承認)

第2回 令和4年6月19日(日) 16:05～17:05

●協議事項

1. 副会長の選定について(承認)
2. 常任理事の選定について(承認)
3. 会長代行及び専務理事代行の優先順位(案)について(承認)

4. 令和4年度保健師職能委員の変更(案)について(承認)
5. 業務執行理事の業務分担(案)について(承認)
6. 理事会申し合わせ事項について(承認)

第3回 令和4年8月6日(土) 9:00～11:10

●協議事項

1. 令和4年度第1四半期会計報告(案)、監査報告について(承認)
2. 第38回香川県看護学会(案)について(承認)
3. 会社役員賠償責任保険契約更新(案)について(承認)

あなたも挑戦してみませんかコーナー

かがわ看護だより117号 掲載クイズ 結果

このイラストは
何のキャラクターでしょう？

- A 香川県看護協会
- B Nursing Now
- C **看護の日**



正解は
「C 看護の日」

たくさんの方々にクイズにご応募いただきました。
当選者は次の方々でした。おめでとうございます！
当選者の皆様には記念品をお届けしました。
次回は、あなたも挑戦してみてください！



クイズ当選者

氏名	
野口 純子 様	安藤 紀子 様
戸井 恭子 様	松浦 綾 様
中川 佐知 様	佐藤恵美子 様
白井 早苗 様	牛野 芙見 様
柳生かおる 様	樋口 友希 様
石川 香織 様	長町 繁美 様
植村 心 様	13名



お知らせ

専門職能団体 看護協会への入会を!!!

研修会・行事等の変更・中止の場合は、
ホームページに掲載いたします。

1 令和4年度 第1回看護代表者協議会

日時: 令和4年8月27日(土) 13:30～
場所: 香川県看護協会 看護研修センター
内容:

- 1) 講義: 香川県における新型コロナウイルス感染症の最近の動向と対策

講師: 香川県 健康福祉部

医療調整監 星川洋一 氏

- 2) 情報交換: 新型コロナウイルス感染症への対応、現状と課題

対象: 看護代表者等

参加費: 無料

駐車料金: 会員300円 / 非会員600円

申込: 電話にてお問合せください。

【問合せ先】087-864-9070

2 第38回香川県看護学会演題募集!!

学会開催日: 令和5年1月29日(日)

演題申込: 9月23日(金) 17:00まで

演題申込書(様式)はホームページからダウンロードしてください。

(8月中旬にはホームページにアップ予定)

たくさんのご応募をお待ちしております。

3 令和4年度入会手続きはお済みですか? 継続・新規・再入会手続き受付中です!!

【継続の方】

会費の振込用紙をお持ちの場合は、お早めにご納入ください。紛失された方は、再発行いたしますのでご連絡ください。

【新規・再入会の方】

手続きに必要な書類はお送りいたしますので、勤務先の看護部または香川県看護協会までご連絡ください。

【問合せ先】087-864-9070(庶務担当まで)

編集後記

かがわ看護だより(10月20日・119号)に掲載するためにみなさんの撮影した風景や季節の写真を募集しています。募集締切は9月16日までです。素敵な写真をお待ちしています。

